



平成 30 年 4 月 12 日

各 位

上場会社名 株式会社 魚 喜  
代 表 者 代表取締役社長 大庭 美和  
(コード番号 2683)  
問合せ先責任者 取締役常務執行役員 西山 武  
電話番号 0466-45-9282

### 特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 2 月期第 4 四半期連結会計期間におきまして、特別損失を計上いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。また、当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 4 月 14 日に公表した平成 30 年 2 月期の通期業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の内容

平成 30 年 2 月期第 4 四半期連結会計期間において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づいて店舗に係る減損損失として 38 百万円を計上いたします。

また、当第 2 四半期連結会計期間に計上した非連結子会社の株式会社うおやの事業を休止したことによる損失負担見込額等も加わり、当連結会計年度の特別損失の総額は、81 百万円となる見込みであります。

#### 2. 業績予想の修正

平成 30 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,800	50	70	20	7.83
今回修正予想 (B)	13,148	△56	△57	△169	△66.27
増減額 (B-A)	△652	△106	△127	△189	—
増減率 (%)	△4.7	—	—	—	—
(ご参考) 前年実績 (平成 29 年 2 月期)	13,504	7	11	△28	△11.14

### 3. 修正の理由

当連結会計期間における売上高は、異常気象などを原因とする漁獲量の減少に加え、5月のアニサキスによる食中毒の報道以降、特に落ち込みが目立ち、当初計画を大幅に下回って推移いたしました。第4四半期には1店舗当たりの売上高は前年並みに回復したものの、不採算店舗（5店舗）を閉鎖したことの影響もあり、売上高は、13,148百万円（予想比95.3%、前期比97.4%）と計画を下回る見込みであります。

また、販売費及び一般管理費は、主として第3四半期以降に開始した新規採用の凍結による要員の見直しで、第4四半期には人件費の圧縮に一定の効果があり、また店舗閉鎖を中心とする諸経費の見直し・削減を行った影響もあり、総額では5,420百万円（予想比97.2%、前年比98.3%）となる見込であります。

概ね第3四半期までの急激な売上高の減少を販売費及び一般管理費の削減施策で補うことができず、この結果、営業損失は56百万円（予想は営業利益50百万円）、経常損失は57百万円（予想は経常利益70百万円）、と当初計画を下回る見込みであります。

さらに、「1. 特別損失の内容」に記載したとおり、減損損失の計上に非連結子会社の株式会社うおやの事業休止に係る特別損失の計上等も加わり、親会社株主に帰属する当期純損失169百万円（前期は28百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）と当初計画を大きく下回る見込みであります。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上